

新	旧															
<p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>【計画の背景】</p> <p>米原市は滋賀県東北部地域に位置し、総面積は 250.46km² である。日本百名山の一つ伊吹山を東に擁し、総面積の約<u>63%</u>を占める森林に蓄えられた水は、清流天野川や姉川となって地域を流れ、母なる琵琶湖に注いでいる。この伊吹山から琵琶湖へと注ぐ水系は、貴重な動植物の生息地となり、当地域にとってかけがえのない自然環境をもたらしている。</p> <p>(略)</p> <p>【目 標】</p> <p>「米原エコミュージアム」では、関西圏・中京圏から約 1 時間 30 分で訪れることのできる交通条件、並びに当地域の人々の分権社会を前提とした内発的・自発的な自助努力・活力を結集しつつ、地域の個性を<u>活</u>かした新しい農山村の発展の道筋を開き、「自然きらめき、ひと・まち ときめく、交流のまち」の実現を目指す。</p> <p>(目標 1) 豊かな自然環境の保全</p> <table border="1" data-bbox="197 863 1106 1150"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>現状値 (平成 17 年)</th> <th>目標値 (平成22年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然案内人の数 〔伊吹山で活動する観光ボランティアの人数〕</td> <td>21 人</td> <td>50 人</td> </tr> <tr> <td>森林間伐の量 〔林道上丹生柏原線の森林区域における間伐量〕</td> <td><u>18ha</u></td> <td><u>49ha</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>エコツーリズムなどを通じて、自然環境に対する正しい知識を普及する活動を展開していくことは、エコミュージアムの体験プログラムの重要な要素になると考えている。</p> <p>例えば、ホテルの保護や伊吹山・里山の環境保全に取り組む住民がツアー客のボランティアガイド役になることが考えられる。こうした住民ボランティアにとっては、自分たちがこれまでの活動の中で得てきた知識を発表する場を確保できると同時に、環境保全への理解者を増やす効果が期待できる。</p>	目標とする指標	現状値 (平成 17 年)	目標値 (平成22年)	自然案内人の数 〔伊吹山で活動する観光ボランティアの人数〕	21 人	50 人	森林間伐の量 〔林道上丹生柏原線の森林区域における間伐量〕	<u>18ha</u>	<u>49ha</u>	<p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>【計画の背景】</p> <p>米原市は滋賀県東北部地域に位置し、総面積は 250.46km² である。日本百名山の一つ伊吹山を東に擁し、総面積の約<u>7 割</u>を占める森林に蓄えられた水は、清流天野川や姉川となって地域を流れ、母なる琵琶湖に注いでいる。この伊吹山から琵琶湖へと注ぐ水系は、貴重な動植物の生息地となり、当地域にとってかけがえのない自然環境をもたらしている。</p> <p>(略)</p> <p>【目 標】</p> <p>「米原エコミュージアム」では、関西圏・中京圏から約 1 時間 30 分で訪れることのできる交通条件、並びに当地域の人々の分権社会を前提とした内発的・自発的な自助努力・活力を結集しつつ、地域の個性を<u>生</u>かした新しい農山村の発展の道筋を開き、「自然きらめき、ひと・まち ときめく、交流のまち」の実現を目指す。</p> <p>(目標 1) 豊かな自然環境の保全</p> <table border="1" data-bbox="1220 863 2130 1027"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>現状値 (平成 17 年)</th> <th>目標値 (平成21年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然案内人の数 〔伊吹山で活動する観光ボランティアの人数〕</td> <td>21 人</td> <td>50 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>エコツーリズムなどを通じて、自然環境に対する正しい知識を普及する活動を展開していくことは、エコミュージアムの体験プログラムの重要な要素になると考えている。</p> <p>例えば、ホテルの保護や伊吹山・里山の環境保全に取り組む住民がツアー客のボランティアガイド役になることが考えられる。こうした住民ボランティアにとっては、自分たちがこれまでの活動の中で得てきた知識を発表する場を確保できると同時に、環境保全への理解者を増やす効果が期待できる。</p> <p>とりわけ、水資源の確保、食糧や木材などの環境材（エコマテリアル）の生産・供給</p>	目標とする指標	現状値 (平成 17 年)	目標値 (平成21年)	自然案内人の数 〔伊吹山で活動する観光ボランティアの人数〕	21 人	50 人
目標とする指標	現状値 (平成 17 年)	目標値 (平成22年)														
自然案内人の数 〔伊吹山で活動する観光ボランティアの人数〕	21 人	50 人														
森林間伐の量 〔林道上丹生柏原線の森林区域における間伐量〕	<u>18ha</u>	<u>49ha</u>														
目標とする指標	現状値 (平成 17 年)	目標値 (平成21年)														
自然案内人の数 〔伊吹山で活動する観光ボランティアの人数〕	21 人	50 人														

とりわけ、水資源の確保、食糧や木材などの環境材（エコマテリアル）の生産・供給の面では、農山村と都市地域が互いに連携を深め、緊密な関係を構築していくことが不可欠な時代を迎えている。

このような中、貴重な動植物が多数生息する豊かな自然は、当地域にとってかけがえのない宝物である。特に当地域の約63%の面積を占める森林は、それ自体が宝物であると同時に、水源かん養をはじめとする多面的機能を有しており、その健全な管理を行うことは、豊かな自然という当地域の宝物を守るために欠かせない要素のひとつである。

エコミュージアムの取り組みを通じて、都市住民と地元住民が相互理解を深め、環境保全に連携して取り組む関係を構築しながら、環境保全活動の活発化を図ることが第一の目標である。

(目標2) 観光産業の振興

目標とする指標	現状値 (平成17年)	目標値 (平成22年)
観光ボランティア数 (伊吹山で活動する観光ボランティアを含む。)	46人	100人
観光入込客数 〔観光入込客統計調査(滋賀県)〕	225万人 (平成16年)	330万人

(略)

(目標3) 農業の振興

目標とする指標	現状値 (平成17年)	目標値 (平成22年)
農産加工に取り組む地域活動グループ数	15団体	30団体
農産物直売所にて売上100万円以上の農家数	34戸	60戸

(略)

(目標4) 研究機関の誘致

目標とする指標	現状値 (平成17年)	目標値 (平成22年)
薬草商品を取り扱う商店・事業所数	5店	10店
薬草に関する特産品開発の研究実績 (新たに開発された薬草商品)	12品種	17品種 (新規に5商品)

の面では、農山村と都市地域が互いに連携を深め、緊密な関係を構築していくことが不可欠な時代を迎えている。

貴重な動植物が多数生息する豊かな自然は、当地域にとってかけがえのない宝物である。エコミュージアムの取り組みを通じて、都市住民と地元住民が相互理解を深め、環境保全に連携して取り組む関係を構築しながら、環境保全活動の活発化を図ることが第一の目標である。

(目標2) 観光産業の振興

目標とする指標	現状値 (平成17年)	目標値 (平成21年)
観光ボランティア数 (伊吹山で活動する観光ボランティアを含む。)	46人	100人
観光入込客数 〔観光入込客統計調査(滋賀県)〕	225万人 (平成16年)	330万人

(略)

(目標3) 農業の振興

目標とする指標	現状値 (平成17年)	目標値 (平成21年)
農産加工に取り組む地域活動グループ数	15団体	30団体
農産物直売所にて売上100万円以上の農家数	34戸	60戸

(略)

(目標4) 研究機関の誘致

目標とする指標	現状値 (平成17年)	目標値 (平成21年)
薬草商品を取り扱う商店・事業所数	5店	10店
薬草に関する特産品開発の研究実績 (新たに開発された薬草商品)	12品種	17品種 (新規に5商品)

(略)

(略)

(目標5) 美しいまちづくり

目標とする指標	現状値 (平成17年)	目標値 (平成22年)
環境リーダー人数 〔環境美化推進員の人数〕	20人	50人
地域で一斉清掃に取り組む自治会・集落数	20箇所	50箇所

(略)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 (略)

5-2. 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業 【A3001】

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

市道：道路法に規定する市町村道に認定済み

市道市場池下線（平成16年3月31日）

市道五反田役場前線（平成8年4月5日）

市道宮田米原東口線（平成13年3月9日）

市道入江磯梅ヶ原線（平成18年3月8日）

(略)

[施設の種類（事業区域）、事業主体]

- ・市道（米原市） 米原市
- ・林道（米原市） 滋賀県、米原市

[事業期間]

- ・市道 平成18年度～22年度
- ・林道 平成18年度～22年度

[整備量及び事業費]

- ・整備量 市道 1.450m

(目標5) 美しいまちづくり

目標とする指標	現状値 (平成17年)	目標値 (平成21年)
環境リーダー人数 〔環境美化推進員の人数〕	20人	50人
地域で一斉清掃に取り組む自治会・集落数	20箇所	50箇所

(略)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 (略)

5-2. 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業 【A3001】

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

市道：道路法に規定する市町村道に認定済み

市道市場池下線（平成16年3月31日）

市道五反田役場前線（平成8年4月5日）

市道宮田米原東口線（平成13年3月9日）

市道入江磯梅ヶ原線（仮称）（平成18年3月認定予定）

(略)

[施設の種類（事業区域）、事業主体]

- ・市道（米原市） 米原市
- ・林道（米原市） 滋賀県、米原市

[事業期間]

- ・市道 （平成18年度～22年度）
- ・林道 （平成18年度～21年度）

[整備量及び事業費]

- ・市道 1.450km、 林道(舗装)5.000km、 林道(開設)1.000 km
- ・総事業費 2,938,000千円

<p>林道 <u>9,500m</u></p> <p>・総事業費 <u>3,094,799</u>千円 (うち交付金 <u>1,547,399</u> 千円)</p> <p>市道 2,588,000 千円 (うち交付金 1,294,000 千円)</p> <p>林道 <u>506,799</u>千円 (うち交付金<u>253,399</u>千円)</p> <p>(略)</p>	<p>市道 2,588,000 千円 (うち交付金 1,294,000 千円)</p> <p>林道 <u>350,000</u>千円 (うち交付金<u>175,000</u>千円)</p> <p>(略)</p>
---	---